

関東甲信越英語教育学会 2015年度春季研修会

研修会テーマ 「変わりゆく学校英語教育 ―今、何ができるか― 」

日時 2016年3月20日(日) 9時50分～16時50分

会場 お茶の水女子大学附属高等学校 <http://www.fk.ocha.ac.jp/access/access.html>
〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
交通 東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅下車、徒歩約7分

参加費 会員 無料 非会員 2,000円 学部生・大学院生(非会員) 500円

時程・内容

9:30～9:50 受付

9:50～10:00 開会式 会長挨拶

10:00～11:10 授業実践報告(中学・高校) (70分)

テーマ : 「中学校1年から、高校3年まで教えてわかったこと」

発表者 : 田口 徹先生(千代田区立九段中等教育学校)

公立中学校で29年間教え、現任校に赴任し、同じ学年集団全員を学年主任、担任、そして英語科主担当として6年間連続携われたという公立学校ではたぐいまれな経験をさせていただいた中で、今感じていること、そして今年定年を迎える私が、現場の先生方に伝えておかなければならないこととお話したいと思います。

11:20～12:30 2. 授業実践報告(小学校) (70分)

テーマ : 「今、大切にしていること

―子どもの学びを知って変わった私の授業―」

発表者 : 多治見亜佐子先生(所沢市立上新井小学校)

「ハイテンションで楽しく元気に盛り上げてゲーム三昧」から「言葉を大切にし、子どもたちの学びに沿った活動を心がける授業」へ学級担任が意識を変えることで授業が変わり、そのことで児童も変わってきました。英語が苦手な学級担任が日々の授業実践や研修の中から感じたことを報告させていただきます。

12:30～13:50 昼食・休憩

13:50～15:00 3. 授業実践報告(中学・高校) (70分)

テーマ : 「生徒の自由自在なアウトプットを目指した授業デザイン

～繰り返し教科書を扱う授業実践～」

発表者 : 西村 秀之先生(横浜市立南高校)

生徒が英語を用いて自由に自己表現できることを目指す授業デザインを考え、現在一年間で教科書を繰り返し使用する授業実践(ラウンド制)を行っている。ラウンド制について、中高一貫校として中学での実践を中心に、今年度高校1年生でもおこなった実践も加え、生徒の姿を織り交ぜながら報告したい。

15:10～16:40 4. 講演(90分)

テーマ : 「日本の学校英語教育の現状と今後を考える」

講師： 和田稔先生（明海大学名誉教授）

私は、過去数年間、目標に準拠した評価による観点別学習状況がどのように定期試験に具現化されているか（中）、文科省の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定の要請をどのように中・高は受け止め、どのような「リスト」を作成したか、を定期試験問題と「リスト」を収集することで調査した。このような調査は、現行学習指導要領をめぐる論点とその改訂の議論への私の強い問題意識に裏打ちされている。講演では、調査結果と問題意識を皆さんと共有し、「学校英語教育は変わるのか」一緒に考えたい。

16:40～16:50 閉会式

17:50 集合 18:00 開始 ～ 20:00 懇親会

ビヤホール銀座ライオン 池袋西口店（5000 円程度） ※事前申し込み

J R 池袋駅 西口 徒歩 2 分

TEL:050-5788-0503

<http://r.gnavi.co.jp/g029000/>

住所：〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-8 サン・グロウビル B1

地図：

